

平成 23 年度
精度管理調査報告

日本医師会/広島県医師会/日臨技サーベイ

当検査センターでは、均質で精度の高い検査が維持できるよう毎年積極的に各種精度管理調査に参加しています。昨年度も日本医師会、広島県医師会および日本臨床衛生検査技師会が実施する精度管理調査に参加しましたので、以下にその結果をご報告いたします。

第 45 回 日本医師会 臨床検査精度管理調査	第 39 回 広島県 臨床検査精度管理調査	平成 23 年度 日臨技 臨床検査精度管理調査
99.8	99.1	100.0(満点)
3,196 施設参加	173 施設参加	3,519 施設参加

▼過去の調査結果

年度	日本医師会	広島県医師会	日本臨床衛生 検査技師会(日臨技)
平成 22	100.0(満点)	100.0(満点)	100.0(満点)
21	99.6	99.0	99.3
20	98.9	100.0(満点)	100.0(満点)
19	99.5	100.0(満点)	98.9
18	99.8	99.8	99.2

■当検査センターにおける精度管理体制の一例 ～先天性代謝異常検査室～

先天性代謝異常マス・スクリーニングの目的は、多くの一般新生児の中から異常もしくは異常が疑われる新生児を早期発見し、早期治療に結びつけることにあります。検査は、新生児の限られた時期、限られた条件のもとで実施されるため、当然見逃しがないように総合的な精度管理のもとで実施しています。

乾燥血液濾紙という特殊な検体を使用するため、採血から検査に入るまで検体管理を中心とした検査前の精度管理は極めて重要となります。

また、日々の検査における内部精度管理はもちろんのこと、月に一回は外部精度管理（財団法人 日本公衆衛生協会スクリーニング精度管理センター）も実施しております。